

支援部便り

平成30年4月号
宮城県立気仙沼支援学校
支援部便り 文責 佐藤牧子
TEL0226-24-3019 FAX0226-24-4519

平成30年度も気仙沼支援学校の地域支援をどうぞよろしく申し上げます。

昨年度末のお忙しい中、地域のセンター的機能についてのアンケートにお答えいただきありがとうございました。結果がまとまりましたのでお届けいたします。全職員で読みいただけるようお取り計らいください。

さて、平成30年度がスタートしました。今年度も、『地域のセンター的機能』の充実に努めたいと思います。

今年度もどうぞよろしく願いいたします。

1 平成30年度支援部紹介

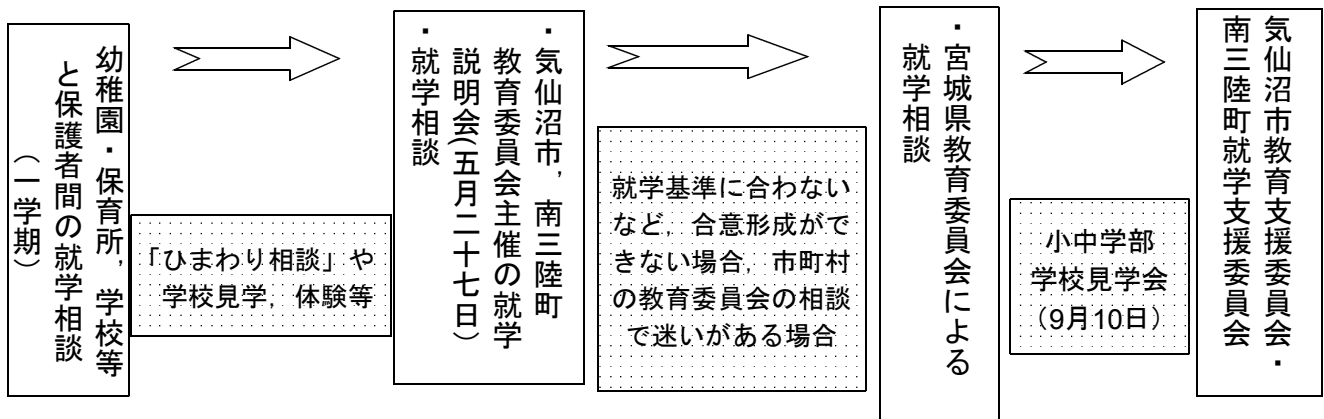
今年度の支援部は、6名で協力して活動します。よろしく申し上げます。

佐藤，菅原，山岸，小山，渡邊，吉田，加藤

2 特別支援学校へ就学までの流れ（小中学部入学や転学）

来年度（または再来年度）、特別支援学校への入学、転学を考えているご本人とご家族について、就学までの流れなどを簡単にご説明します。

※気仙沼支援学校へ入学や転学を検討されている方は、あらかじめ本校の『ひまわり相談』を受けていただくことをお勧めします。学校見学や説明をとおして、就学先を考えるのに必要な情報を提供させていただきます。



3 『ひまわり相談』～検査について

本校の『ひまわり相談』は、「発達検査の依頼」には対応しておりませんのでご了承ください。従って、派遣依頼書に「検査実施」等の記載はご遠慮いただきたいと思います。ただし、相談を進める中で、必要があるときは検査・アセスメントを行うことはあります。

4 平成30年度の学校見学会・研修会（予定）

※今年度、本校支援部は、『北部ブロックコーディネーター連絡会』の事務局校になり、宮城県教育委員会主催の研修会を運営することになります。そのため、例年行っていた校内研修会の形とはやや異なります。予定が変更になることもありますので、予めご了承ください。後日、改めてご案内いたしますので、その時点で申し込みをお願いします。

期 日	活 動, 研 修 名	一 言 P R
5/1 (火)	<u>てんかん研修会</u> 講師：プール学院大学 教授 永井利三郎 氏 会場：気仙沼支援学校	☆てんかんの権威である永井利三郎先生から、珍しくない病気である『てんかん』について、現場で知っておきたいことを分かりやすく解説していただきます。
7/3 (火)	<u>高等部学校見学会</u> ※日程は未定です。市内特別支援学級交流会の日は除きます。お待ちください。	☆来年度、再来年度に本校高等部に入学を検討されている方の見学会です。見学のほかに、高等部についての説明も行います。案内が届きましたら、第二希望として検討されている保護者にもご紹介ください。
7/27(金) 一日研修	『インクルーシブ教育研修会①』 <u>合理的配慮の提供の実際</u> 講師：東北大学大学院 教授 野口和人 氏 会場：南三陸町バイサイドアリーナ	☆障害者差別解消法が施行され、学校等では障害のある子ども一人一人が社会生活を謳歌するため合理的配慮の提供がなされることになっています。実際の合理的配慮の提供について、理解するための研修会です。
8/9(木) 一日研修	<u>コーディネーター養成研修</u> 講師：スクールカウンセラー 臨床心理士 及川美香 氏 会場：本吉町はまなすホール	☆特別支援教育コーディネーターの心強い味方の一人であるスクールカウンセラー。経験豊富な及川美香さんから示唆に富んだお話をいただけるものと思います。
9/10(月)	<u>小中学部学校見学会</u> 午前9:30～ 会場：気仙沼支援学校	☆来年度、再来年度に小学部・中学部に入学、転学を検討されている方の見学会です。見学のほかに、本校の教育についての説明も行います。対象の保護者にご案内ください。
10/22 (月)	『インクルーシブ教育研修会②』 <u>ユニバーサルデザインの視点による授業づくり</u> 講師：宮城学院女子大学 教授 梅田真理 氏 会場：迫合同庁舎	☆合理的配慮の提供は、障害のある子どもだけでなく、障害のない子どもにも有効であることが分かっています。そのための「ユニバーサルデザイン」について研修します。
日程未定	<u>就学に関する研修会</u> 講師：本校支援部 佐藤牧子 会場：気仙沼支援学校 ☆昨年度の気仙沼市コーディネーター連絡協議会でお話した内容とほぼ同じです。担任の先生向けです。	☆「特別支援学校には、どんな子どもが通うの？」「保護者が希望すれば入学できるの？」「特別支援学級にはどういう手順で入級するの？」「通級指導教室って何？」などの疑問にお答えします。

「地域支援に関するアンケート結果」を受けて

1 グラフから読み取れること

- ① 幼保，小学校で「支援部を利用した」と答えている割合が多くありました。
- ② 利用回数は，微増しています。行政と小学校に多く利用していただいています。
- ③ 利用の形態は，「研修会参加」が最も多く，次いで訪問相談，電話やメールが続きました。
- ④ 利用しなかった理由については，「日程の調整ができなかった」が最も多くありました。「校内で対応できた」が増えてきたのは望ましいことです。
- ⑤ 「相談の主訴」は，「通常の学級で気になる子」についてのものが最も多くありました。本校のひまわり相談は通常の学級に在籍する子どもについてが大部分です。
- ⑥ 「気仙沼市特別支援教育セミナー」の研修会が好評でした。気仙沼市教育委員会と支援学校との共催で行っていることで参加者が多くなったものと思われます。
- ⑦ 今年度希望する研修会で最も多かったのは，「発達障害」に関連する研修会でした。これについては，前ページにある2回の「インクルーシブ理解研修会」でほぼ対応できることと思います。
- ⑧ 「ひまわり相談の満足度」は「とても満足・ほぼ満足」との回答が多かったです。ありがとうございます。励みになります。「利用していないのでどちらとも言えない」という回答も幼保で多くありました。

2 自由記述から

- ① ひまわり相談について
 - ・ おおむね高評価をいただきました。今後ともご期待に添えるように努力したいと思います。
- ② ひまわり教室（ペアレント・トレーニング）について
 - ・ 知名度が上がるとともに，ニーズが増えてきています。一度に行うことができる人数は5～6名の保護者の方です。平成30年度は，前期・後期・Ⅲ期の3回を予定しています。前期とⅢ期は「気仙沼市民健康管理センター すこやか」で行い，後期は「本吉保健福祉センター いこい」で行う予定です。人数に限りがありますので，参加される場合は，ひまわり相談を受けていただくことにしております。大人数でペアレント・トレーニングについて聞きたい場合は，保護者研修会などを企画してください。
 - ・ 就学相談への期待も大きいと感じました。引き続き取り組んで参ります。
 - ・ 保育所からは，「定期的に訪問してほしい」という要望が多くありますが，旅費の関係もあり，定期的に訪問することは難しい状況です。ご依頼をいただいてから，訪問させていただいております。

3 ひまわり相談の申し込み方法について

- ① 電話をください。
気仙沼支援学校TEL 24-3019に電話いただくと，事務室につながりますので，「ひまわり相談お願いします。」とお話してください。
メールの場合は
「keyou-shienbu1@keyou.myswan.ne.jp」までお願いします。
- ② 日程を調整します。
- ③ 「訪問ひまわり相談」の場合，依頼状が必要です。様式はホームページにあります。

